

有磨学区まちづくり推進委員会

委員長 甲斐 昌基

（問合せ先） 084-958-3849（有磨交流館）

事業内容

（1）魅力ある地域づくり事業

近代化産業遺産&日本の歴史を学ぶ

兵庫県朝来市『生野銀山』&但馬の城下町『出石地区』（11月5日）
人権平和パネル展

『ウクライナから届いた戦禍の中の子どもたちが描く平和への願い』
（10月30日）

👉 生野銀山



（2）健康・生きがい・支えあい事業

そとまちロードウォーキング

但馬：出石地区（11月5日）

👉 人権平和パネル展



（3）地域ぐるみの生活安全・環境事業

防災訓練：避難所体験ほか

（11月27日）

環境ポスター作成・学区内掲示

（2月 学区内ごみステーション）

芦田大谷砂留整備作業&新規調査

（11~3月）

👉 防災訓練：避難所体験



（4）つなぐ心・人・地域交流事業

作品展（10月30日）

👉 そとまちウォーキング



（5）広報誌発行事業（年3回）

（6）コミュニティ育成事業

地域一斉清掃・地域交流行事など（通年）

（7）まちづくり推進委員会運営事業（通年）

善行市民表彰の推薦と善行学区民表彰

選挙啓発

👉 作品展



成果

協働のまちづくりの推進の向け、新型コロナウイルス感染防止対策を行うことで安全を確保しながら、行事の規模を縮小したり、内容の変更、開催時期を考慮したりするなど、適宜工夫して実施することができた。

課題

高齢者の割合が高い地域なので、感染リスクを考えて行事内容や開催日、規模を変更せざるをえなかった。また、近年は各団体役員の高齢化や担い手不足も課題になっている。

課題解決にむけて

コロナ禍を踏まえた“新しい日常”のなか、地域のニーズに応えられるように、関係機関や各種団体との連携を図り、幅広い世代の活動の活性化と人材（担い手）の育成に取り組んでいく必要がある。

芦田大谷砂留整備

2017年から「地域まちづくり計画推進事業」として整備をはじめました。現在は地域まちづくり推進事業の「地域ぐるみの生活安全・環境事業」として、自治会連合会、芦田大谷砂留を守る会（ボランティア）とまちづくり推進委員会の部会のメンバーで、整備保全活動を行っています。

2022年度は、5月22日に「現地研修会」を開催しました。岡山大学准教授の樋口先生を講師に迎え、6番砂留を実際に見学し、砂留の構造などを学びました。



👉 現地研修会



本格的な整備作業は、11月13日（日）から3月12日（日）までの毎週日曜日の午前中に行いました。

本年度は、まず側道の木々の伐採や落石の除去から整備を始めました。そして、3・4番砂留の側道から降りる急斜面の道を階段状に整備、6番砂留の入口の進入路工事など新たに実施することができました。



天候不順で整備作業は2回中止になりましたが、大きなけがや事故もなく、またマスクをつけての作業は息苦しく大変でしたが、みなさんのご協力により順調に進み本年度は終了、来年度以降に繋げました。

『新規砂留の調査』継続中！

今年度も通常の整備作業に加えて、新規砂留の調査が12月より始まりました。

岡山大学准教授の樋口先生と調査を進めたところ、2023年3月末まで計12回の調査で新たに100基砂留が発見確認され、初年度からの調査で合計347基となりました。



👉 調査の様子